



西伯小だより

SINCE 1967
令和7年4月14日
NO.484

南部町立西伯小学校
〒683-0351
南部町法勝寺 336 番地
☎0859-66-2215

■学校教育目標：ふるさとに誇りをもち、夢や目標に向かって、仲間とともにたくましく生きる児童の育成

西伯小学校 一步前へ！～あたたかい言葉で認め合い、高め合う～



校長 安達 嘉也

すっかり春らしく暖かな日々が続いています。先週の4月9日に始業式、10日の入学式では、新入生37名を迎え、児童数284名で令和7年度がスタートしました。本校では初めて新入生が40名より少なくなり、また児童数も300名を切りました。少子化の波が本校にも押し寄せていますが、見方を変えれば、今まで以上に一人ひとりに寄り添った教育ができる強みとも言えます。

さて、始業式では以下のような話をしました。

昨年度は全校で3つの目標を意識して、取り組みました。1つ目は「目標を持って進んで勉強をすること」、2つ目は「思いやりを持ってみんなと仲良く過ごすこと」、3つ目は「健康で元気に、チャレンジすること」でした。皆さんがこの目標をしっかり意識し、取り組んだ結果として、12月に行った標準学力調査というテストでは、全国平均よりもよい結果でした。また11月に行ったQU検査という学校の生活などについて自分の気持ちを答えるアンケートでは「学級が楽しい、落ち着く」といった結果が全国の平均よりも随分と高い結果でした。

このように素晴らしい学校になっているのは、皆さんが、進んで考え、行動しているからです。挨拶運動や廊下歩行についても運営委員会を中心に皆さんが考え、行動したからこそその結果だと思います。人から言われてするのではなく、自分から進んで取り組むことはやる気や意欲が出てきます。失敗した時、困った時には励ましてくれる友だちや先生がいます。まずは、目標をもって自ら進んで学び、行動してください。学校は皆さんが創っていくものです。

そして、令和7年度は、「西伯小学校 一步前へ！～あたたかい言葉で認め合い、高め合う～」を合言葉にみんなががんばっていきたいと思います。昨年度のアンケートで「めあてをもって学習していますか」、「挨拶をしていますか」などという項目でどれも90%以上の方ができていると答えていました。しかし、「友だちを呼び捨てにしていないか、丁寧な言葉づかいで話しているか」という項目だけは67%と一番低い結果になっていました。皆さんは自分ことをよく分かっています。

言葉は、自分の気持ちや考え、感情までも相手に伝え、人との関わりを深めることができるコミュニケーションの基本です。あたたかい言葉で伝え合うことで相手もあたたかい気持ちになり、言葉を発した本人もあたたかい気持ちになります。今日から、まずは友だちを呼び捨てにしない、あたたかい言葉で認め合ったり、高め合ったりすることから始めてほしいと思います。言葉が変わると人は変わります。昨年度よりさらに一步前進できる西伯小学校を目指していきましょう。

今年度は、学校教育目標を「ふるさとに誇りをもち、夢や目標に向かって、仲間とともにたくましく生きる児童の育成」とし、昨年度からの課題であった「あたたかい言葉で認め合い、高め合う」学校を目指していきます。保護者の皆様、地域の皆様、令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。

■37名の新生を迎えました ～第59回入学式～

あたたかい風が吹き、桜の花びらが舞う中、元気いっぱいの新生37名を迎え、第59回入学式を無事に終えることができました。緊張しながらも、はきはきと返事をしたり、よい姿勢で話を聞いたりする姿から、これからがんばるぞというやる気が伝わってくるようでした。また、在校生代表として参加した6年生の姿もすばらしく、とても頼もしく感じました。



■令和7年度西伯小学校 教職員等紹介

| 職名・分掌等 | 氏名 | 職名・分掌等 | 氏名 |
|------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 校長 | 安達 嘉也 | 英語専科 | 岩瀬佳弥子 |
| 教頭 | 渡瀬 弥生 | 通級指導教室 | 中住 友香 |
| 教務主任 | 本池 靖子 | 養護教諭 | 成瀬 香純 |
| 1年1組担任 | 高橋 聡美 | 事務副主幹 | 美甘 道子 |
| 1年1組担任 | 北尾 眞弓 | 学校栄養主任 | 中田 幸子 |
| 1年2組担任 | 谷口 康 | 学校栄養職員 | 竹尾穂乃花 |
| 2年1組担任 | 仲田あゆみ | 学校生活適応支援員 | 古曳 愛子 |
| 2年2組担任 | 谷野 遥香 | 教員業務支援員 | 細田 祐子 |
| 3年1組担任 | 池口 晴世 | 学習支援員 | 西村 泰子 |
| 3年2組担任 | 吉木 宏 | 〃 | 久城 博子 |
| 4年1組担任 | 岩崎 史紘 | 特別支援教育支援員 | 吉川 由起 |
| 4年2組担任 | 勝部 智也 | 外国語支援員 | 寺本 亜夢 |
| 5年1組担任 | 後原 尚吾 | 学校司書 | 安田美穂子 |
| 5年2組担任 | 三輪 仁志 | 学校主事 | 枝野 真実 |
| 6年1組担任 | 松本久美子 | 4月人事異動により、下記の教職員が転入しました。よろしくお願ひします。 渡辺 悠介 大山町立大山小学校より 谷口 康 新規採用 谷野 遥香 新規採用 成瀬 香純 南部町立会見小学校より 森下 正也 境港市立渡小学校より 竹尾穂乃花 吉川 由起 寺本 亜夢 枝野 真実 南部町立南部中学校より | |
| 6年2組担任 | 渡辺 悠介 | | |
| さくら学級担任 | 中本 尚美 | | |
| さくら学級支援員 | 宮邊 和子 | | |
| おおぞら学級1組担任 | 森下 正也 | | |
| おおぞら学級2組担任 | 亀尾 秀樹 | | |
| おおぞら学級支援員 | 岩本 千秋 | | |
| たけのこ学級担任 | 木村 朋子 | | |

■お知らせ

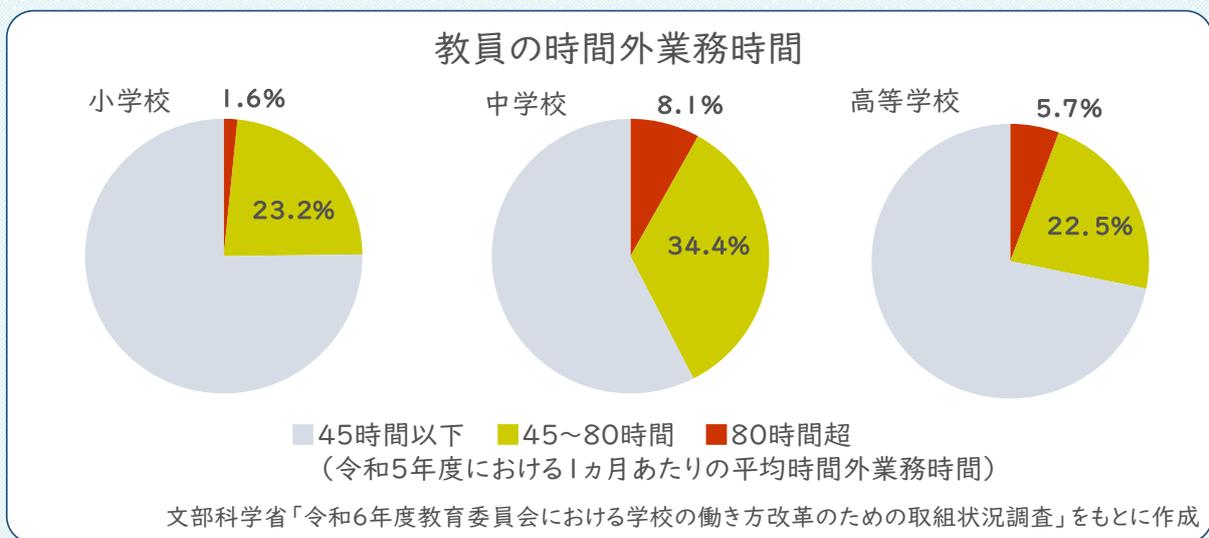
今回の西伯小だよりに併せて、「学校での働き方改革ご協力」のチラシを添付しています。教員不足は深刻で、本校も教員が1名足りない状態で、令和7年度がスタートしました。「学校が楽しい!」、「学習が分かった!できた!」と子どもたちが感じる事ができるようチーム西伯小として取り組んでいます。1名足りない部分を全員でカバーしている状態です。本校は、保護者、CS、地域振興協議会等の皆様が非常に協力的で、大変感謝しておりますが、教員が子どもたちとしっかり向き合える時間、授業に向けて教材研究ができる時間確保のため、今後も働き方改革を推進していきます。どうぞご理解とご協力のほど、お願いいたします。

鳥取県の子どもたちのため、 各学校での働き方改革に 引き続きご協力をお願いします。

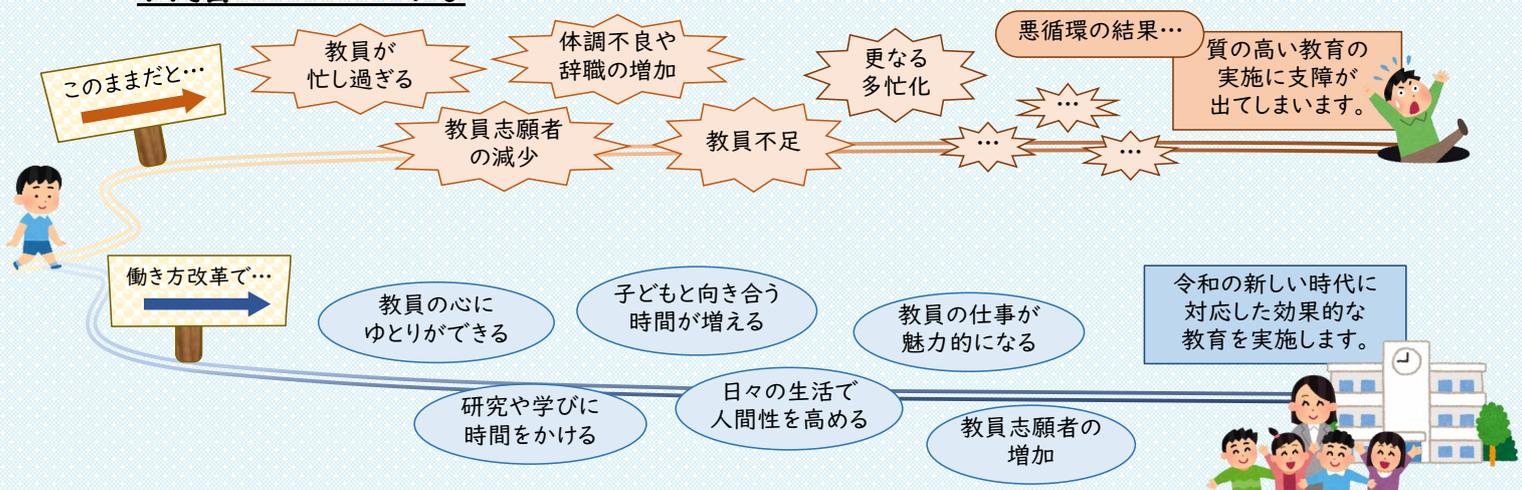


☑ みなさまのご協力もあり、学校の働き方改革が進められていますが、
まだ多くの教員が長時間勤務を行っている状況です。

本来の勤務時間外に業務を行う時間が「過労死ライン」と呼ばれる月80時間を超える教員も存在しています。さらに法令では、時間外業務時間は原則として「月45時間を上限」とするよう定められており、対策が必要です。



☑ 子どもたちに対して質の高い教育を行っていくためにも、教員の働き方を見直し、教員が教育活動に注力できる環境を整えていくことを目指しています。



☑ 各学校で働き方改革に向け、学校・教員の業務を見直しています。
引き続き保護者・地域のみなさまのご理解・ご協力をお願いします。
※詳しい内容は裏面をご覧ください。

学校における働き方改革の主な内容

教育効果を維持しながら、教員が行う業務の量を見直していきます。

保護者・地域のみなさまへ

- ◆ 教員が学校教育に注力していくとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていくため、子どもに関わる学校の活動について、連携・協働や分担をお願いします。
- ◆ 学校行事についても、教育上真に必要な活動を行っていくため、精選や統合、準備の簡素化を図っていきますので、ご理解をお願いします。

地域への分担をお願いしたい業務の例

- ・登下校の際の子どもたちの見守り活動
- ・授業時間中や放課後における生活・学習支援
- ・学校内の環境整備（草刈り・花壇整備等）等



地域に開かれた学校へ ～琴浦町立聖郷小学校での好事例の取組～

地域に開かれた学校づくりを進める中で、多くの地域ボランティアさんに、体育のサポートや、算数の丸つけをはじめとした、日々の授業の学習支援等に参加してもらっています。



日々成長する子どもたちの姿を間近で見られて、やりがいを感じながら活動しています。

活動が子どもたちのよりよい教育へつながっていることを実感でき、嬉しく思います。



こんないい事があります!

- 子どもたちは、色々な視点から認めてもらったり、ほめてもらったりするので、楽しく意欲的に授業に参加しています。
- 教員も余裕を持って授業が行えるようになり、児童一人ひとりの様子にしっかりと目が届くようになりました。

ICT等を積極的に取り入れ、学校業務の効率化を進めていきます。

保護者・地域のみなさまへ

- ◆ 連絡手段のデジタル化について、ご理解をお願いします。
- ◆ 学校への連絡については、可能な限り勤務時間内に連絡いただく等、ご配慮をお願いします。

学校と保護者のみなさまの間での連絡手段のデジタル化は、双方にメリットがあり、全国的にも導入が進んでいます。鳥取県においても学校ごとにアプリの導入等によるデジタル化を進めています。

| 導入例 | 従来の方法 | デジタル化 | 保護者のみなさまのメリット | 学校のメリット |
|--------------------------|---------|-------------------|----------------------------|------------------------------|
| 日常的なお便りの配布 (学校→保護者) | 書類による配布 | メール等による送付 | 児童生徒の出し忘れや紛失がなくなり、確認しやすくなる | 印刷、配布業務の大幅な削減 紙・インクの節減 |
| 欠席・遅刻の連絡 (保護者→学校) | 電話連絡 | アプリ等で登録 | 当日に電話が繋がらない等の時間ロスが無くなる | 電話対応時間の大幅な削減 随時状況把握が可能になる |
| アンケート等の実施 (学校→保護者→学校) | 紙による実施 | GoogleForms等による実施 | スマートフォン等でいつでも回答が可能となる | 印刷、配布、集計業務の大幅な削減、効率化 |

また、勤務時間外における早朝、夜間の電話等の対応は、留守番電話とするなど基本的には行わないこととしています。各学校で時間、方法等を設定し、お知らせしています。

他にも、「新鳥取県教育委員会学校業務カイゼンプラン」に基づき、各種取組を進めます。

詳しくはこちらをご覧ください → https://www.pref.tottori.lg.jp/gakkou_hatarakikata/

